

第19回全国障害者スポーツ大会 茨城県準備委員会

第5回委員会



大会マスコット「いばラッキー」

平成28年6月22日（水）

茨城県庁舎 11階

共用会議室 1102・1103

いきいき茨城ゆめ国体2019

いきいき茨城ゆめ大会2019

第74回国民体育大会 / 第19回全国障害者スポーツ大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

第19回全国障害者スポーツ大会会期（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会会期（案）については、以下【参考】に記載する基本的な考え方及び配慮事項を踏まえ**第1**とし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱の6に基づき、文部科学省及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会と協議する。

- 第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）
【内定】 平成31年9月28日（土）～10月8日（火）
- 第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）
第1 平成31年10月12日（土）～10月14日（月・体育の日）
第2 平成31年10月26日（土）～10月28日（月）

【参考】

1 基本的な考え方

- (1) 全国障害者スポーツ大会は国体の直後を原則とし、3日間で開催する。
(障害者スポーツ大会開催基準要綱)
- (2) 多くの県民が参加できるように、先催県と同様、国体直後の土曜日を開会式とすることが適当。(第4回準備委員会協議事項1抜粋)

2 配慮事項

- 皇室行事と重複しないこと

3 参考 〈全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（抜粋）〉

6. 開催時期の決定

開催時期は、開催地主催者が開催の概ね3年前までに、主催者と協議のうえ決定する。

第19回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会におけるオープン競技は、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）で定めるもののほか、この基本方針により実施する。

1 趣旨

障害者スポーツの一層の普及・振興を図る観点から、いきいき茨城ゆめ大会において、正式競技以外の競技種目をオープン競技として選定する。

なお、オープン競技は、正式競技の開催に支障のない範囲で実施するものとする。

2 募集

広く障害者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技・種目について、県内の関係団体等へ公募のうえ、選定し、実施する。

3 選定基準

オープン競技の選定にあたっては、次の選定基準により決定するものとする。

- (1) 主催団体が、自主運営により競技会を実施できること。
- (2) 県内に出場可能な選手・チームが存在すること。
- (3) 県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。
- (4) 既設の競技施設により実施可能であること。
- (5) 第19回全国障害者スポーツ大会の開催期間内に実施が可能であること。

4 選定スケジュール

- (1) 平成28年7月～ 関係団体等に対し、実施希望調査を実施
- (2) 平成28年9月～ 実施希望団体等との協議・調整
- (3) 平成28年11月～ オープン競技（案）の審議・選定
- (4) 平成29年2月～ 中央主催者（文部科学省・日本障がい者スポーツ協会）と協議のうえ、決定

第19回全国障害者スポーツ大会 リハーサル大会（案）について

1 目的

競技運営，審判技術等の向上を図るとともに，大会に対する県民の理解と関心を高めることを目的に，リハーサル大会を実施する。

2 競技

(1) 個人競技（6競技）

毎年開催されている「茨城県ゆうあいスポーツ大会」，「茨城県身体障害者スポーツ大会」をリハーサル大会として開催。茨城県代表選手の選考会を兼ねる。

(2) 団体競技（7競技）

全国障害者スポーツ大会の関東地区ブロック予選会（持ち回りで開催）等をリハーサル大会として開催。

※詳細は別紙のとおり。

3 会場

いきいき茨城ゆめ大会で使用する会場とする。

4 主催者

いきいき茨城ゆめ大会と同じ

5 期日

平成31年5月25日（土）～26日（日）

【参考】

- 全国障害者スポーツ大会への参加申し込み期限：大会開催年の6月30日
（全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則）

リハーサル大会開催（案）

1 開会式

- (1) 日時 平成31年5月25日（土）
 (2) 会場 笠松運動公園陸上競技場
 (3) 参加者 陸上競技出場選手ほか

2 競技会

	競技名	競技日程	会場	備考
個人競技 (6競技)	陸上競技(身・知)	5月25日(土)	笠松運動公園陸上競技場	茨城県ゆうあい スポーツ大会 茨城県身体障害者 スポーツ大会 兼リハーサル大会 全国大会出場選手 選考会を兼ねて実施
	水泳(身・知)	5月25日(土)	笠松運動公園屋内 水泳プール	
	アーチェリー(身)	5月25日(土)	荃崎運動公園陸上競技場	
	卓球(身・知) ※サウンドテーブルテニス(身)を含む。	5月25日(土)	日立市池の川 さくらアリーナ	
	フライングディスク (身・知)	5月25日(土)	ケーズデンキスタジアム水戸	
	ボウリング(知)	5月25日(土)	フジ取手ボウル	
団体競技 (7競技)	バスケットボール(知)	5月25日(土) ～26日(日)	青柳公園市民体育館	関東ブロック予選会 兼リハーサル大会等
	車椅子バスケットボール (身)	5月25日(土) ～26日(日)	サイバーダイナアリーナ (つくばカピオ)	
	ソフトボール(知)	5月26日(日)	山吹運動公園運動広場	
	グランドソフトボール (身)	5月26日(日)	しらわ 白羽スポーツ広場多目的 スポーツ広場	
	フットベースボール(知)	5月26日(日)	山吹運動公園運動広場	
	バレーボール(身)	5月26日(日)	ひたちなか市総合運動 公園総合体育館	
	バレーボール(知)	5月26日(日)	かなくぼ総合体育館	
	バレーボール(精)	5月26日(日)	松戸体育館	
	サッカー(知)	5月26日(日)	ひたちなか市総合運動 公園陸上競技場及び スポーツ広場	

第19回全国障害者スポーツ大会

競技役員等養成計画（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会(以下「大会」という。)の競技役員等の養成は、大会の円滑な競技運営と障害者スポーツの普及・振興を図ることを目的とし、競技運営主管団体が行き組む競技役員等の養成に対し必要な支援を行う。

1 養成事業

(1) 実施主体

各競技運営主管団体が主体となって原則として競技ごとに実施する。

(2) 事業計画

競技ごとの具体的な養成計画及び事業計画については、各競技運営主管団体が計画する。

(3) 経費

各競技運営主管団体が行う競技役員等養成事業等に係る経費に対して、第19回全国障害者スポーツ大会茨城県準備委員会（実行委員会）事務局が予算の範囲内で補助する。

2 養成内容

(1) 障害者の競技に適用される競技規則の習得。

(2) 円滑な競技運営のための障害特性の理解。

(3) 下表の競技種目は、審判員の不足数を解消するため審判資格取得講習会を実施。

種目	障害種別	競技運営主管団体
サウンドテーブルテニス	身体(視覚)	茨城県卓球連盟
車椅子バスケットボール	身体(肢体)	茨城県バスケットボール協会
グランドソフトボール	身体(視覚)	茨城県ソフトボール協会
フライングディスク	身体・知的	茨城県障害者フライングディスク協会

3 競技役員等必要人数

競技役員			競技補助員	合計
審判員	運営員	小計		
636人	846人	1,482人	1,514人	2,996人

※各競技団体に対し、平成28年5月31日現在で調査した結果によるもの。

4 養成方法

事業名	事業内容	対象役職
中央講習会等 派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> 実施競技における審判資格（上記2（3）の種目に係る資格）の取得。 審判資質の向上を図るため、必要と認められる者を中央競技団体主催の講習会等へ派遣する。 	審判員 運営員
県内講習会等 開催事業	<ul style="list-style-type: none"> 実施競技における審判資格（上記2（3）の種目に係る資格）の取得。 障害特性の理解、競技規則の習得、審判員としての技術向上などを図るため、講習会等を開催する。 	審判員 運営員 競技補助員
開催準備活動 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 競技運営に必要な準備活動を推進するため、先催大会を視察し、競技運営方法を調査・研究等を行う。 	審判員 運営員

5 年次計画

	競技	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
競技役員 (審判員・運営員)	4種目※	資格の取得	→		
	全競技	審判実務 障害特性の理解		————→		
		競技ルール の習得 審判講習会 の実施		————→		
		先催大会・ 近県大会 の視察		————→		
競技補助員	全競技	競技運営に必要となる知識及び技術の習得			————→	

————→ 実施 → 必要に応じて実施

※ サウンドテーブルテニス、車椅子バスケットボール、グラウンドソフトボール、フライングディスク

第19回全国障害者スポーツ大会 開催基本計画（案）について

1 作成の目的

開催基本計画は、大会の運営・準備の骨子をまとめたものであり、今後も大会準備の指針として活用するとともに、広く県民にこの大会を理解していただくために作成するもの。

2 構成

	項目	内容	ページ
一 基本事項	1 開催基本方針	開催基本方針	1
	2 大会の名称・愛称・スローガン等	大会の愛称・スローガン, マスコット等	3
	3 主催者	中央主催者・開催地主権者	5
	4 大会日程	開催期日, 大会日程	6
	5 実施競技及び競技運営主管団体	1 3 競技 (個人競技 6 競技・団体競技 7 競技)・競技運営主管団体	7
	6 会場	開・閉会式, 各競技会場	8
二 準備運営計画	1 競技	参加選手団規模, 競技役員等の養成・編成, 競技運営, オープン競技, ユニバーサルデザインに配慮した会場づくり	9
	2 式典	開・閉会式, 炬火	1 5
	3 宿泊等	宿泊, 医事・衛生	1 7
	4 輸送・交通	輸送, 観光	1 9
	5 県民運動	基本目標, 運動の進め方, 具体的取組, 児童・生徒等への参加促進, ふれあい広場の設置	2 0
	6 ボランティア	大会運営ボランティア, 情報支援ボランティア, 選手団サポートボランティア	2 3
	7 広報・報道	広報活動, 大会の記録, 報道取材	2 6
	8 運営調整	安全確保, 傷害保険, 服飾, 入賞メダル・参加章	2 8

※ 網掛けは、第4回準備委員会までに決定された事項。

※ は、今回（第5回準備委員会）の審議事項。

※ 全ページに音声コードを印刷する。

※ 点字版を作成する。

※ 構成は、先催県でも概ね同様である。

本日の審議事項（抜粋）

3 主催者

【別冊「第19回全国障害者スポーツ大会開催基本計画（案）」P.5】

主催者は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、茨城県、開催地市及び関係団体とします。

主催者の構成

中央主催者

- ・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- ・文部科学省

開催地主催者

- ・茨城県
- ・水戸市
- ・日立市
- ・結城市
- ・常陸太田市
- ・取手市
- ・つくば市
- ・ひたちなか市
- ・一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会
- ・一般社団法人茨城県身体障害者福祉協議会
- ・茨城県肢体不自由児者父母の会連合会
- ・社会福祉法人茨城県視覚障害者協会
- ・一般社団法人茨城県聴覚障害者協会
- ・一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会
- ・茨城県手をつなぐ育成会
- ・一般社団法人茨城県精神保健福祉会連合会
- ・社会福祉法人茨城県社会福祉事業団
- ・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
- ・茨城県障がい者スポーツ指導者協議会
- ・茨城県特別支援学校長会
- ・茨城県障害者スポーツ・文化協会
- ・公益財団法人茨城県体育協会

4 大会日程

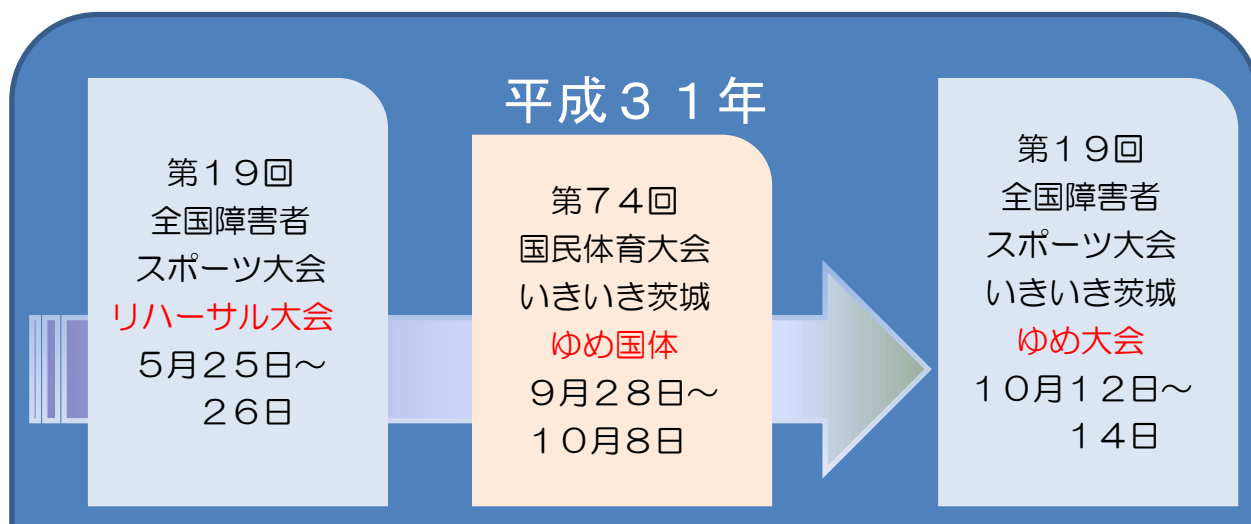
【別冊「第19回全国障害者スポーツ大会開催基本計画（案）」P.6】

大会日程は、選手が日頃の力を十分に発揮できるよう、また、大会関係者に負担をかけないように、できるだけゆとりあるものとし、多くの方が参加できる大会を目指します。

(1) 開催期日

【本大会】 平成31年10月12日（土）～14日（月）

【リハーサル大会】 平成31年 5月25日（土）～26日（日）



(2) 大会日程

ゆとりある競技日程を目指し、大会関連の日程を次のとおりとします。

10月10日 (木)	10月11日 (金)	10月12日 (土)	10月13日 (日)	10月14日 (月)	10月15日 (火)
選手団来県	選手団来県 監督会議 全代会 公式練習者会議	開会式	競 技	閉会式	選手団離県
		オープン競技			

5 県民運動

【別冊「第19回全国障害者スポーツ大会開催基本計画（案）」P.22】

(4) 児童・生徒等への参加促進

次代を担う児童・生徒等の障害に対する理解を深めるとともに、障害者スポーツの普及を進めるため、学校等との連携を図り、式典への参加や競技会場での応援など、大会への参加を促進します。

(5) ふれあい広場の設置

ア 設置場所

県、会場地市、福祉関係団体、ボランティア団体等と連携して、開・閉会式会場等に設置します。

イ 設置目的

(ア) 授産製品の展示・販売などを通して、障害に対する理解を深めるとともに、障害者の自立と社会参加を促進します。

(イ) レクリエーションや、大会実施競技をはじめとする障害者スポーツ体験などを通して、県民と選手等の交流を促進します。

(ウ) 茨城の自然・文化・歴史の紹介や、会場地市の特産品をはじめ、県産物の展示・販売などを通して、茨城の魅力を発信します。

8 運営調整

【別冊「第19回全国障害者スポーツ大会開催基本計画（案）」P.28】

大会全般の円滑な運営を確保するため、次の業務を実施します。

(1) 安全確保

関係機関・団体の緊密な連携のもと、開・閉会式会場、各競技会場における大会期間中の参加者の安全確保を図ります。

ア 会場等の警備

事件・事故等の未然防止に努めるとともに、緊急時における措置について万全を期します。

イ 交通対策

大会期間中の交通安全の確保を図るため、県民の協力を求めるとともに、実情に応じて適切な措置を講じます。

ウ 消防・防災

非常時における措置について万全を期すとともに、火災などの未然防止及び発生時の被害軽減対策に努めます。

(2) 服飾

大会全般の円滑な運営を確保するために、実施本部員、各種ボランティア等大会関係者の役割が識別できる服飾を整備します。

(3) 傷害保険等

大会の開催準備又は大会期間中の不測の事態に対応するため、傷害保険等に参加し、万一の事態に備えます。

(4) 大会メダル・参加章

大会メダルを作成し、1位から3位までに入賞した選手に授与します。
また、大会への参加と協力を末永く記念として残すため、参加章を作成し、選手・役員等に贈ります。

デザインは、「いきいき茨城ゆめ国体」と統一性を図ります。

第19回全国障害者スポーツ大会茨城県準備委員会の 解散（国体実行委員会の専門委員会への移行）について

第74回国民体育大会の開催決定(7月20日予定)を受け、両大会の開催準備を一体的かつ効率的に推進するため、「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会（仮称）（以下「実行委員会」という。）」を設置するのに伴い、当準備委員会を解散する。

なお、今後の大会開催準備に係る必要事項については、実行委員会に新たに設置する専門委員会で審議する。

1 第1回実行委員会

平成28年7月26日（火）開催予定

2 新組織の名称

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会全国障害者スポーツ大会専門委員会（仮称）

3 「全国障害者スポーツ大会専門委員会（仮称）」の役割（案）

(1) 付託事項

- ア 全国障害者スポーツ大会の基本的事項に関すること。
- イ その他全国障害者スポーツ大会に係る重要な事項に関すること。

(2) 委任事項

- ア 全国障害者スポーツ大会の競技に関すること。
- イ 全国障害者スポーツ大会のボランティア（情報支援及び大会選手団サポートに限る。）に関すること。
- ウ その他全国障害者スポーツ大会運営（他の専門委員会の委任事項を除く。）に関すること。
（例） ・オープン競技について
・競技会場等のバリアフリーに関する内容について
・リハーサル大会について 等

4 その他

- (1) 国体と共通する業務事項（広報・県民運動関係、宿泊・衛生関係、輸送・交通関係、式典関係、警備・消防関係等）については、それぞれの専門委員会で調査・審議していただく予定。
- (2) 他の専門委員会の委員と重複している委員等については変更する。
- (3) 当障スポ県準備委員会が決定してきた事項等については、全て実行委員会へ引き継ぐこととする。